

観点別学習状況の評価（A～C）の事例とその評価基準

1 学校の実情

対象は、普通科とほぼ同等の教育課程で学んでいる総合学科の文型の生徒である。落ち着いた状況で学習ができており、標準的な学力を有している。

2 その観点で行おうとした理由

本時は、単元の最後に設定した授業である。単元全体を学習した生徒には、まだ疑問点や理解が不十分な点があるのではと考えられる。そこで、疑問点や理解が不十分な点を調べて表現させたものから、知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組が見取れるのではないかと考えた。

また、単元の学習を振り返らせ、反省点を書かせ、それをどのように改善しようと考えているのかを表現させることで、自らの学習を調整しようとする側面を見取れるとも考え、本時を「主体的に学習に取り組む態度」を評価する時間とした。

3 評価基準 【主体的に学習に取り組む態度】の評価

A 理解が不十分な所や疑問点をあげ、教科書や資料集、インターネット等から調べ自分自身の表現でまとめられているなど粘り強く学習に取り組んだ態度が見取れる。また、振り返りができ、その改善点を具体的に表現できている。

B 理解が不十分な所や疑問点をあげ、教科書や資料集、インターネット等から調べようとしているが、写しただけなど、取組に改善の余地がある。また、振り返りができているが、その改善点の表現が曖昧である。

C 自身の理解が不十分な点や疑問点を解決しようとする姿勢が不十分である。また、振り返りができていなかったり、その改善点の表現が不十分だったりする。

※Cの場合は、本人と対話をするなどして、理解が不十分な箇所や疑問点を実際に聞き、具体的にどのように解決したらよいかを教科書やノートを見ながら伝える。また、反省点や改善点についても対話をしながら本人の状況を把握し、具体的にどのような反省点や改善点があるのかを考えられるよう支援する。

4 生徒の評価例

(1) 理解不十分、疑問

(粘り強い取組を行おうとする側面)

疑問

①グルカゴンも血糖濃度上昇の役割があるのに、体温調節(体温上昇)させるホルモンとして扱われないのはなぜか。→逆になぜ、アドレナリンと糖質コルチコイドは体温調節が行えるのか。

②アドレナリン闘争・逃走反応において重要な役割を果たす。糖質コルチコイドは抗炎症作用、高エネルギー作用の一環として体温を上げる。つまり、二つは身体への危機における体温調節として体温上昇させているのであって、グルカゴンは血糖濃度上昇のみがその役割であるという差がある。血糖濃度上昇≠体温調節ということが分かった。

○

(2) 反省点、改善点

(自らの学習を調整しようとする側面)

①単語の意味を理解することはできたが、別の単語との関連性を見いだすことができていないのが反省点。(今回の(1)からも分かるように)

②次の単元では、過去に習った内容が今やっている。若しくは次のやるところにどう関わってくるか、予習・復習を繰り返して理解を深めたい。

○

評価の理由

疑問点について調べ、自分自身の表現でまとめているなど粘り強く学習に取り組む態度が見取れる。また、学習を振り返り、改善点を具体的に表現できていることから「十分満足できる状況」と判断できる。

評価 B の例

理解が不十分なところ

①ホルモンの種類と働き

②1.視床下部 放出, 放出抑制ホルモン
ホルモン分泌の促進・抑制

2.副甲状腺 パラトルモン
カルシウム濃度上がる。

3.副腎皮質 鉱質コルチコイド
腎臓の Na^+ 再吸収と
 Ca^{2+} の排出

4.すい臓ランゲルハンス島
A 細胞 グルカゴン→血糖上昇
B 細胞 インスリン→血糖低下

△

①ホルモンの種類と働きはそれぞれ異なって多いけれど、勉強の優先度を下げってしまったところ。急いで覚えないうのを後悔している。

②覚えることが多いところは優先度を上げて覚える。間違ってもテスト2日前などに急に覚えることをしないようにする。

△

理解が不十分なことについて、調べられているが、表現が資料を抜粋し写したものとなっている。また、学習の反省点、改善点について指摘できているが具体性に欠ける。そのため、「おおむね満足できる状況」と判断できる。

評価 C の例

理解が不十分なところ

①交感神経, 副交感神経

②それぞれ体を活動モードにするものと回復モードにする自律神経

×

①内分泌系とホルモンの関りを理解するのが難しかった。

②少しずつ丁寧に理解できるように心がける。関連付けを重視する。

△

理解が不十分なことを、端的に書いてあるのみで、粘り強く取り組んだ態度が見とれない。また、学習の改善点、反省点の表記の具体性も欠くため、「努力を要する状況」と判断できる。